

科 目 名		必修／選択	単位数	学 年	学科
家庭基礎		必修	2	1	家庭
科目の概要	「家庭基礎」では、生きるための「基礎」となることを学びます。 「協力・協働」「健康・快適・安全」「生活文化の継承・創造」「持続可能な社会の構築」をキーワードに、食べること、着ること、住まうこと、家族、消費生活、環境などについて、知識を身につけ、課題解決に取り組みます。 一人ひとりの生活力を高め、そのことを通じて家族、コミュニティ、社会全体の生活の質を高めていくために何をどうすればいいのか、家庭科の学習を通じて考え、行動につなげていきます。				
教材名	教科書	高等学校 改訂版家庭基礎 持続可能な未来をつくる（第一学習社）			
	副教材	2026 最新 生活ハンドブック（第一学習社）			
担当者		藤井千博、照井麗			
学習到達目標		生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			
学習方法		生活の営みを人の一生というライフステージでとらえ、「生涯を見通す」時間軸の広がりをもって、学びを深める。 1 今の生活をみつめ、「あたりまえ」を問い直す。 2 知識や技術を習得し、生活の課題に取り組む。 3 成果を振り返り、学習したことを毎日の生活の中で実践していく。 上記1～3の具体的な方法として、つぎのような学習を行います。 教科書と資料集を用いて基礎知識や課題発見能力、思考力などを身につける。また、実験・実習、調べ学習、ホームプロジェクトにより、判断力・表現力・協働性・主体性を成長させられるように、グループや個人で問題解決に取り組む。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
	評価方法	定期試験(前後期末の年2回) 小テスト(単元ごと) 実技テスト	定期試験(前後期末の年2回) 調べ学習、ホームプロジェクトなどの課題内容、発表態度 作品及び完成までの作業の進め方	ノート・課題の提出状況 各種実習・ホームプロジェクトの取り組み状況 単元の振り返り(単元ごと)	
	評価基準	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、 <u>生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。</u>	家庭や地域及び社会における生活の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、 <u>生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。</u>	<u>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。</u> <u>また、自己調整をしながら、粘り強く取り組むことができる。</u>	
	A	学習到達目標の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。	学習到達目標の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。	学習到達目標の目標に照らして、十分満足できる成果を上げた。	
	B	学習到達目標の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。	学習到達目標の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。	学習到達目標の目標に照らして、おおむね満足できる成果を上げた。	
	C	学習到達目標の目標に照らして、努力を要する。	学習到達目標の目標に照らして、努力を要する。	学習到達目標の目標に照らして、努力を要する。	

年間学習計画

月	章・単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	オリエンテーション ホームプロジェクトとは	・シラバスについて確認する。 ・「ホームプロジェクト」の意義と実施方法について理解する。 ◆ミニホームプロジェクト 「地産地消エコッキングレシピ」の作成 ※北広島消費者協会主催「地産地消エコレシピコンクール」応募	3	
	第1章 これからの生き方と家族 1節 生涯の生活設計	1. 生涯発達する自分-人と人のつながりの中で 2. 青年期を生きる 3. 働くことについて 4. 生活設計ー豊かな人生設計に向かって	2	
5	第2章 次世代をはぐくむ 1節 こどもの発達	1. 次世代をはぐくむ 2. 命のはじまり 3. 乳幼児の体の発達 4. 乳幼児の心の発達	2	
	2節 こどもの生活	1. 親と子のかかわり 2. 乳幼児の生活と安全 3. 子どもの成長と遊び	2	
	3節 子育て支援と福祉	1. 地域社会と子育て支援 2. 未来を担う子どもの権利	2	ノート点検・小テスト・単元の振り返り
6	第6章 衣生活をつくる 1節 人の一生と被服	1. 私たちと衣生活 2. 被服の機能ー保健衛生上の機能 3. 被服の機能ー社会生活上の機能 4. 被服の選び方	3	【前期中間考査】なし
7		〔被服実習〕 ◆エプロン製作(手縫い・ミシン縫い)	8	
8	2節 被服材料	1. 被服の素材ー繊維の種類と特徴 2. 被服の素材ー布の種類と被服素材の性能	1	
	3節 被服材料	1. 洗濯方法と表示 2. 洗濯のしくみ 3. 被服の手入れと保管 4. 被服を長く大切に使うために	2	
9	4節 これからの衣生活	1. 衣文化の継承と創造 2. 持続可能な衣生活	2	ノート点検・小テスト・単元の振り返り
	第8章 経済生活をつくる 1節 私たちの暮らしと経済	1. 人生とお金 2. 家庭の収入・支出とリスクへの備え 3. 持続可能な生活と将来への準備	2	【前期期末考査】1
	2節 消費者問題を考える	1. 契約と意思決定 2. 多様化する支払い方法 3. 消費者問題 4. 消費者の自立と行政の支援	2	
10	3節 持続可能な社会をめざして	1. 消費生活と地球環境 2. 消費者市民社会をめざして	2	
		〔金融教育出前授業〕	2	ノート点検・小テスト・単元の振り返り

11	第5章 食生活をつくる	1. 何をどれだけ食べればよいか	2	【後期中間考査】なし
	4節 食生活をデザインする	2. 食品には何がどれだけ含まれているか		
12		3. 献立作成の手順		8 実技テスト
		4. 調理の基本ー調理の流れ、包丁の使い方、調味		
1		5. 調理の基本ー調理法、配膳、マナー		2
		〔調理実習〕		
2		◆実技テスト「きゅうりの半月切り」		6
		◆調理実習 10月～実施予定		
2	1節 人の一生と食事	1. 私たちと食事	2	ノート点検・小テスト・単元の振り返り
		2. 健康に配慮した食生活		
2		3. 食生活の変化		2
		4. 持続可能な食生活		
2	2節 栄養と食品	5. 食生活の文化		【後期期末考査】1
		1. 人体と栄養		
2		2. 炭水化物		4
		3. 脂質		
2		4. たんぱく質		2
		5. 無機質(ミネラル)		
2		6. ビタミン		4
		7. その他の食品と健康増進のための食品		
2	3節 食生活の安全のために	1. 食品の選択と保存	2	【後期期末考査】1
		2. 食品の安全と衛生		
2	ホームプロジェクトの実践	◆冬休み課題 各自テーマによるスライド作成と発表		4
3	第7章 住生活をつくる	1. 私たちと住まい	4	ノート点検・小テスト・単元の振り返り
	1節 人の一生と住まい	2. 住文化の継承と創造		
3		3. 平面図の活用		2
		4. 長く住み続けるために		
3		5. 生涯を見通した住まいの工夫		2
		◆一人暮らしの物件探し		
3	2節 住生活の計画と選択	1. 快適で健康な住まい	2	ノート点検・小テスト・単元の振り返り
		2. 安全で安心な住まい		
3		3. 持続可能な住まい		2
		4. 住まいと地域社会のかかわり		
3	第1章 これからの生き方と家族	1. 家族・家庭・世帯	2	4
	2節 家族・家庭と社会とのかかわり	2. 家族・家庭の働き		
3		3. 変化する結婚行動と少子化の動向		3
		4. 結婚と変化する家族		
3		5. 家族に関する法律ー家族と法、夫婦		3
		6. 家族に関する法律ー親子、扶養、相続		
3	第3章 充実した生涯へ	1. 超高齢社会を生きる	4	ノート点検・小テスト・単元の振り返り
		2. 人生のなかで高齢期をとらえる		
3		3. 高齢期の生活		3
		◆シニア体験		
3		4. 高齢社会を支えるしくみ		3
		5. これからの高齢社会を担う		
3	第4章 とともに生きる	6. 充実した高齢期へ		
		1. 社会保障制度と社会的連帯		70
		2. 人の多様性と社会参加		
		3. 自分らしい生き方と共生社会		
			70	

